

学校図書館支援センター通信 159号

令和3年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

市川市立第四中学校 2 学年「数学科自由研究」

市川市立第四中学校で数学科を担当してる 高井 俊孝先生が実践された、学校図書館を活用した数学科の授業の様子をご紹介します。

今回の学習は、「数学科自由研究」です。3週間の期間を設け、自学自習を活用しながら進めました。1週目はテーマ決め、2週目は調べ学習、3週目にまとめと発表という流れで行いました。ネットワーク便を利用して、数学の歴史や数学者、世の中で使われている数学など、幅広く数学に関係する図書資料を各学校から集めました。



各学校から集まった資料 約100冊

集めた図書資料とインターネットを利用して、調べ学習を行いました。授業の中で行った調べ学習の時間は、2時間です。調べた内容をもとに、タブレット端末を用いてパワーポイント等にまとめ、チームで先生に提出します。提出した資料を大型提示装置に映し出し、一人一人が発表します。生徒たちは「テーマを選んだ理由→調べたこと・調べた方法→研究結果→わかったこと→調べた感想」の順に調べたことを発表していました。発表の合間に、「0という数字が一番新しいのは、何もないことを表すことが難しかったからだね。」「三平方の定理がわかると、例えば、椅子の強度を高める時に必要な長さを調べることができるよ。」など先生からの補足説明があり、さらに理解を深めていました。生徒たちからは、「数学が日常に活かせることがわかった。」「欧米で使われているフェルミ推定が、日本でも使えればよいと思った。」「数字について調べると種類だけでなく、歴史や生活に深く関わっていることがわかった。」「これを機に数学の世界のことを調べてみようと思った。」など数学に対しての肯定的な感想が多く聞かれ、学習意欲へつながっていました。全員の発表後、各クラス2名の「ベストプレゼンター」を生徒たちが選出するので、発表を聞いている生徒たちも真剣でした。また、発表で使用した資料は廊下に掲示され、生徒たちの頑張りを認められる場となっています。

☆授業を参観した際に発表していた生徒たちのテーマ☆

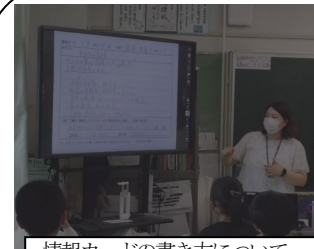
- ヤクルトスワローズの代打で誰が一番すごいのか？（有名選手3名を比較）
- マンホールの蓋はなぜ丸いのか？
- 数学者調べ（連立方程式を作った人、円周率に関する人）
- 数字の歴史 ○数学史（漢数字、ローマ数字、アラビア数字のメリットとデメリット）
- フェルミ推定 ○アルキメデスの法則 ○ピタゴラスの定理 ○円周率について

4 年目教員対象「授業力アップ研修会」小学校編

市川市立八幡小学校 5 学年 国語科

トビタテ YAWATA!～世界での暮らしについて話し合い、考えを広げよう～

158号では、中学校の研修会の様子を紹介しました。今月号は、市川市立八幡小学校で行われた授業の様子をご紹介します。



情報カードの書き方について、確認しています。



担任の先生と学校司書が連携しながら授業を進めていました。学校司書は図書資料の紹介、情報収集の支援を行っていました。

5 学年の国語科「AI との暮らし」の題材に、「トビタテ YAWATA!～世界での暮らしについて話し合い、考えを広げよう～」という学習を行いました。この学習の目的は、世界の国々の暮らしについて調べ、立場を明確にしてミニディベートを行うことで、自分の考えを広げることです。

授業者である深瀬 里美先生は、事前に集めた図書資料の量や種類等を確認しながら、ディベートのテーマを選ぶようにしました。そうすることで、情報収集する際に、図書資料を有効活用できるようになります。また、学校司書と単元について相談する中で、年鑑を活用することになりました。年鑑は毎年作られ、1 年間の主な出来事がまとめられている学習編と日本と世界の統計がまとめられている統計編に分かれています。今回のように、世界の暮らしを調べる学習で活用できる資料です。情報収集をする授業のはじめに、児童たちへ学校司書から年鑑についての説明があったので、児童たちも情報収集の一つの資料として、年鑑を活用していました。

情報活用能力の育成を意識した単元構成になっており、他の教科でも参考になる内容でした。

《単元の流れ》

- ①題材文を読み、見通しを持つ。（図書資料をもとにテーマを考え、情報収集の視点を決める。）
- ②「外国での暮らし」について図書資料を使って情報収集をする。
- ③「ミニディベート」に向け、情報を整理したり、資料を作ったりする。
- ④「ミニディベート」を行い、「外国での暮らし」について考えを広げる。
- ⑤学習を振り返り「ミニディベート」の良さや生かし方を話し合う。

情報の収集
整理・分析
発表・交流
広げる・深める

図書館の窓から 2

～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～
市川市立市川小学校

市川小学校では6月と10月に読書週間を実施しています。今年度も昨年度と同様に感染防止対策に気を配りながら図書委員の子供たちと相談して行事に取り組んでいます。

10月の読書週間では子ども達のアイデアから各クラスのおすすめ本のアンケートを実施しました。その結果を「みんなのおすすめの本」として掲示して、そこで紹介した本を学年別に展示しました。それらの本に興味を持ってくれる子ども達が増えて、紹介された本と同じシリーズを借りていく姿が多く見られました。

また、図書委員の読み聞かせでは動画配信を行いました。練習の際にはタブレット端末でお互いに撮影しながら読み方を確認していましたが、タブレット端末活用の新たな可能性を感じる出来事でした。

これからも図書委員会の活動を通して、子ども達と本との楽しい出会いをサポートしていきたいと思います。

【市川市立市川小学校 学校司書 中川 洋子】



図書館の窓から 1

～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～
市川市立第五中学校

「コロナ禍」や「GIGA スクール構想の導入」に伴い、学校図書館を取り巻く環境が急激に変化してきています。一方、「(一般的に)読書離れが進んでいる」といわれている昨今ですが、『読書の森・知識の泉である図書館』を利用して、一人でも多くの生徒に、一冊でも多くの本を読んで欲しい!!」をモットーに、読書意欲へのきっかけとなるような「読書案内」施策の工夫に色々と取り組んでいます。

今回は、(生徒共通向けに設置した)「特設展示コーナー」について紹介します。『千葉県が舞台になっている小説』『地元市川市ゆかりの作家・文化人』展示コーナーです。狙いは、①県内の馴染みのある人物や地名等②地元出身という身近な存在の作家等の作品は、親しみが湧いて取っ付き易く、読書導入への入り口になるのではないかと考えて設置しました。昨年来、生徒や来館者の反響もあり、又、利用者も増えて、手応えを感じています。

生徒には、「中学生時代にしか味わえない感動、ドキドキ・ワクワクする魅力ある図書館作りに精励していきます。

【市川市立第五中学校 学校司書 永井 博之】



今回の「図書館の窓から」は、二校の取組をご紹介します！

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4

TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

